

指揮者プロフィール／河原哲也

東京音楽大学指揮科卒業。同大学研究科指揮専攻修了。指揮を三石精一、松本紀久雄、音楽理論を有馬孔子の各氏に師事。在学中よりオペラ公演の音楽スタッフとして活動をはじめ、1989年の二期会ヨーロッパ公演「ちゃんちき(團伊玖磨作曲・指揮)」では副指揮者として同行した。現在、新国立劇場、二期会、オペラ振興会等で合唱指揮、副指揮者を務めている。また、新宿区民オペラ「アイダ」、荒川区民オペラ「カルメン」、長野「魔笛」、長野県オペラ協会「ヘンゼルとグレーテル」等を指揮し、好評を得ている。2010年にはネッコ・サンティ指揮、NHK交響楽団定期演奏会「アイダ」の合唱指揮を担当した。オーケストラコンサートでは、東京シティフィルハーモニック管弦楽団など、各地のオーケストラを指揮し、また東京大学管弦楽団をはじめとする学生オーケストラやアマチュアオーケストラも多数指揮している。また、2000年から2004年までヤマハ吹奏楽団の第4代常任指揮者として全国大会にも出場し、3回金賞を受賞するなど、吹奏楽やミュージカルにおいても、幅広く活躍している。

伊豆フィルハーモニー管弦楽団

平成5年に産声をあげた伊豆フィルは今年で18年目を迎えるオーケストラです。団員は約60名。年齢も職業も音楽歴も様々ですが『音楽が大好き!』という共通の思いのもと県内藤枝、山梨・神奈川・東京等遠方からも集まり伊東市旭小学校内で練習に励んでいます。

活動は定期演奏会の他、小編成のわくわくコンサート、ボランティアコンサートなどがあります。

2004年10周年記念オペラ「カヴァレリア・ルスティカーナ」(指揮:岩村力)2009年「はじめてのファミリーコンサート」(指揮:田久保裕一)伊東・下田。2010年12月15周年記念演奏会ヴェルディ「レクイエム」(指揮:岩村力)では 静岡・三島・伊東会場公募150名の合唱団員と共に伊東・三島2公演を行いました。そして20周年(2013年)へ向けて新たな一歩を踏み出したところです。



聴きどころ一口メモ…《団員Nのつぶやき》

歌劇「ホヴァンシチナ」前奏曲／ムソルグスキー作曲

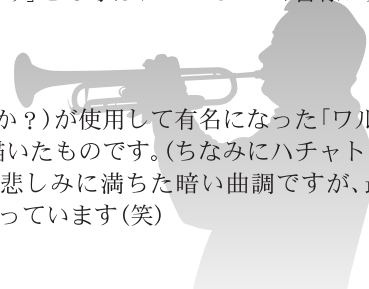
もとは歌劇の前奏曲としてムソルグスキーが書いた曲ですが、その原曲のほとんどがピアノ譜で残されたため、同じロシア五人組であるリムスキーコルサコフによって管弦楽番に編曲されています。「モスクワ河の夜明け」とも呼ばれているので、皆様に大河の夜明けを思わせるような演奏をしたいと思います。

「仮面舞踏会」／ハチャトリアン作曲

5曲からなるこの組曲は、フィギュアスケートの浅田真央ちゃん(もう「さん」というべきか?)が使用して有名になった「ワルツ」で始まりますが、物語は真央ちゃんのイメージとはかけ離れた?嫉妬による夫婦の悲哀を描いたものです。(ちなみにハチャトリアンの告別式でもスヴェトラノフによって演奏されたそうです!)他の4曲もおおむね悲しみに満ちた暗い曲調ですが、最後の「ガロップ」(Galop)は、いかにもハチャトリアンらしい?ハチャメチャで楽しい音楽となっています(笑)

交響曲第五番／チャイコフスキー作曲

この交響曲は「チャイコフスキーの運命交響曲」とも呼ばれ、今や六番の「悲愴」を人気で凌ぐとも言われていますが、それは単にベートーベンのそれと番号が同じであるというだけでなく、内容も非常にエネルギッシュで情熱的であるからでしょう。また、演奏する我々にとっても、ほとんどすべての楽器に見せ場のあるソロ(またはそのパートによるソリ)があるので、いわゆるおいしい曲である、ということも人気の理由と言えます。中でも冒頭の陰鬱なクラリネットのソリと2楽章のホルンの余情的なソロは聴き所です!



♪伊豆フィルからのお知らせ♪

急募 弦楽器 打楽器

一緒に音楽を作りませんか?

団員募集中です!

練習月に2~3回(原則として日曜日の午後)

場所/伊東市旭小学校

見学大歓迎 伊豆フィルホームページをご覧ください

<http://www.izu-phil.org/>

(問合せ:板垣0557-32-0328・島田090-9175-7498)

